

貸借対照表

2025年3月31日現在

科	目	金額	科	目	金額
資産の部			負債の部		
		円			円
【流動資産】		【2,155,462,113】	【流動負債】		【1,166,192,986】
現金及び預金		88,252,758	短期借入金		500,000,000
未収金		510,093,551	リース債務		887,040
預け金		1,525,686,927	未払金		430,471,086
商品		11,710,637	未払費用		114,904,542
貯蔵品		4,748,054	未払消費税等		42,534,318
前払費用		12,962,196	未払法人税等		15,366,017
その他		2,059,990	預り金		18,519,203
貸倒引当金		△ 52,000	前受金		43,433,780
【固定資産】		【129,300,332】	その他		77,000
(有形固定資産)		(45,840,203)	【固定負債】		【179,283,719】
建物		1,494,169	リース債務		1,552,320
建物付属設備		7,683,352	退職給付引当金		173,981,399
構築物		3,225,706	役員退職慰労引当金		3,750,000
工具器具備品		31,219,376	負債の部		1,345,476,705
リース資産		2,217,600	純資産の部		
(無形固定資産)		(5,623,737)	【株主資本】		【939,285,740】
ソフトウェア		5,353,737	資本金		40,000,000
電話加入権		270,000	利益剰余金		899,285,740
(投資その他の資産)		(77,836,392)	利益準備金		10,000,000
出資金		11,230,000	その他利益剰余金		889,285,740
繰延税金資産		66,026,361	別途積立金		760,000,000
差入保証金		50,030	繰越利益剰余金		129,285,740
差入敷金		530,000			
その他		23,263			
貸倒引当金		△ 23,262	純資産合計		939,285,740
資産合計		2,284,762,445	負債・純資産合計		2,284,762,445

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

商品	個別法
貯蔵品	先入先出法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに、2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法）

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金	債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上しております。
役員退職慰労引当金	役員の退職に伴う退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

2. 当期純利益

128,797,904 円